

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	摂津工場 新施設構築プロジェクト20	階数	地上4F
建設地	大阪府摂津市三島2丁目670番1、6	構造	S造
用途地域	工業地域、準工業地域、第二種高層	平均居住人員	60 人
地域区分	6地域	年間使用時間	450 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年4月16日
敷地面積	6,583 m <sup>2</sup>	作成者	東井嘉信
建築面積	2,206 m <sup>2</sup>	確認日	2018年4月26日
延床面積	5,626 m <sup>2</sup>	確認者	芝池裕教



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.1</b> ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 79%</p> <p>③上記+②以外の 79%</p> <p>④上記+ 79%</p> <p>46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 2.6</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.9</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 3.1</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.0</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.5</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.8</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.4</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>本計画は摂津市に新設される工場である。視環境、空気質環境、サービス性能に配慮し、利用者が快適に過ごせる計画としている。また、節水器具、高効率設備機器の採用により省エネルギーに配慮している。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>特になし。</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>適切な視環境、また仕上げ材にF☆☆☆☆の建築材料及び取入れ外気の位置を配慮する等、空気質環境にも配慮し執務者の快適性向上に配慮している。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>防汚性の高い材料や埃の溜まりにくい設計等、維持管理に配慮している。免震・制震装置の導入により安全性、また、更新間隔の長い配管材料の採用や階高・壁長さ比率に余裕を持たせ、建物の耐用性・対応性に配慮している。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>特になし。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>高効率設備の採用により省エネルギーに配慮している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>節水器具を採用し、水資源の保護に貢献している。仕上材にリサイクル材を採用し非再生性資源保護に配慮している。また、断熱材はODP,GWPが低い吹付け硬質ウレタンフォームA種1Hを採用している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LCCO<sub>2</sub>排出量削減に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0017

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	摂津工場 新施設構築プロジェクト209棟					
	建設地	大阪府摂津市三島2丁目670番1、670番4、670番5、670番6、1344番6、1344番11					
	用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

## エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.6	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

## その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		